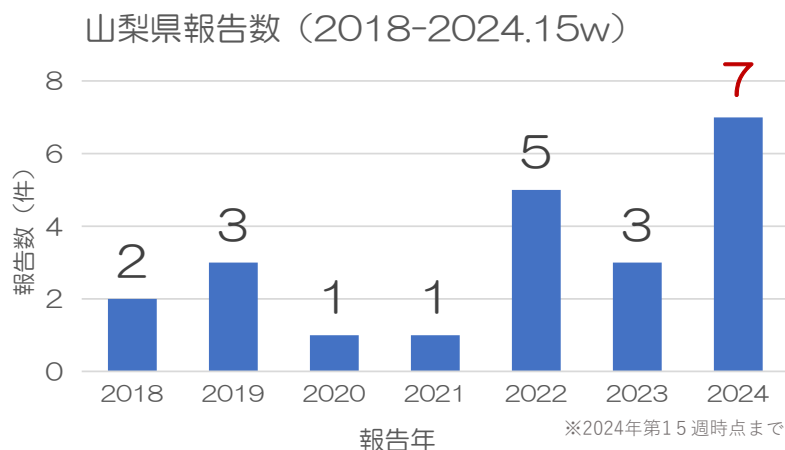


劇症型溶血性レンサ球菌感染症の増加について



240419
山梨県感染症対策センター

1 状況



- レンサ球菌という細菌のうち、 β （ベータ）溶血という特徴を示す細菌によって、命に関わるような重篤な状態に急激に進行する感染症です。
- メディアなどで「人食いバクテリア」などと呼ばれている感染症は、劇症型溶血性レンサ球菌感染症の一種です。
- 全国的に報告数が増加しており、山梨県内でも2024年は第15週（4月14日）までの時点で合計7例が報告されました。
- 2018年から2023年までは年間5例以下であり、現時点ですでに過去6年間の年間報告数を上回る症例が報告されている状況です。

2 一人一人ができること

- 報告数が増加しているといっても、日常生活の中で劇症型溶血性レンサ球菌感染症を予防するために友人と会うことを控えたり、外出を控えたりする必要はありません。
- 普段から実施している一般的な感染対策として、手洗いを心がけるようにしましょう。
- また、ハンカチや手拭きタオルの共用を避けることも推奨します。
- **切り傷やすり傷**は汚れたままにしておくと、レンサ球菌をはじめ、さまざまな菌に感染することがあります。**傷口は流水や石けんできれいに洗い、傷口の周りが赤く腫れたり、熱が出る場合には速やかに医療機関を受診しましょう。**